

# 学校支援活動事業訪問

## 福島市訪問【福島市立清明小学校】

訪問日：平成29年11月2日（木）10：30～12：00

場所：福島市立清明小学校

内容：3～6年「防災フィールドワーク」での学習支援ボランティア

今回の学習は、フィールドワークを通して、地域の地理的な特徴や河川氾濫の危険箇所について理解することで、土砂災害の発生時に自分の命を守ることができる判断力や行動力の素地をつくるのがねらいです。防災フィールドワークは、全部で18ある縦割り班を7つの町内会に分けて実施しました。各町内会から、16名の方が協力ボランティアとして参加されました。

フィールドワークでは、協力者の方々が、ポイントとなる所で立ち止まりながら、子どもたちに、次のことを説明されていました。

- 8・5水害の時の地域の状況
- 先日の台風21号による荒川運動公園の様子
- 地域内で水がたまりやすいところ
- 矢剣町会館や須川児童遊園に防災用具を保管し、災害に備えていること
- 子ども110番避難の家の場所

子どもたちは、実際の現場を自分の目で見ながら、熱心に説明を聞いていました。



### 学校、家庭、地域社会の相互連携

全体会での「正しく知り、正しく動き、正しくできるようになろう」という校長先生のお話に、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。「ベンチが防災用具の保管庫になっているなどいろいろな工夫がされていた」「洪水は低い場所に起きやすい」「身近なところに危険なところがあることわかったので気をつけようと思った」などの感想が、子どもたちから出されました。実際の現場で話を聞き、実物を見たことで、防災への理解を深めることができましたと思います。

協力者の方が次のようなことを話されていました。「子どもたちとふれあうことをとても楽しみにしている。子どもとの接点、世代間交流を大切にしていきたい。子どもを通して地域コミュニティの機能を強めていきたい。」

今回の防災フィールドワークでは、学校を通じて、地域の結びつきを強めていこうという視点が感じられました。また、単に学校だけでなく、学校・家庭・地域社会が、それぞれの役割分担を適切に果たしつつ、相互に連携して、子どもたちを育てていこうとする姿を見ることができました。